

棚田通信

NO2 2007.2

恵那市坂折棚田保存会

なごみの里だより

里山の景観・保存を考えよう

2006年7月恵那市坂折棚田保存会が発足いたしました。関係各位のご努力により設立の運びになったことに対し、衷心より喜んでいる一人です。

私が棚田にかかわるようになったのは、退職後の平成10年中野方公民館に勤務してからです。平成8年頃より教育委員会の調査が始まり、市内の先生方や金田講師による石積み講義を聞くことにより、石積みの素晴らしさ、技術の高さと黒鍬集団、全国にも誇れるような石積み棚田など知ることができました。

またこの年に第4回全国棚田サミットが新潟県安塚町で開催され、それに参加したことが、なお一層棚田の重要性を認識する機会となり、今日に至っています。これより数回先史文化研究会の方々、行政の担当者の方々とサミットに参加するうちに、「恵那市でも坂折棚田があるので大会を開催したら」という声に励まされ、地元としては大きな不安を抱えながら実施されたのが、平成15年第9回全国棚田サミット恵那大会でした。

テーマ「整備と保全」を掲げ、坂折川をはさんで左岸と右岸で整備・保全が共存する形となりました。整備田もみどり公団は初の試みとして、土はに石積みをいれて畦をつけて景観の保持に努めています。もうひとつ特筆すべきは、学校教育の中に棚田を使った生産活動を取り入れられていることです。勤労の喜び、収穫の喜びなどの育成の場を提供したことも忘れてはなりません。



昨今の中山間地域の農業の問題点として、生産活動の維持、現況をどのように存続させるかが、全国的な問題となる中で、後継者のことがあります。耕作放棄地を作らない新しい維持の仕方の導入、すなわちオーナー制などを模索しながら、今後の棚田の活性化につなげたいと願っています。

副会長 河合 哲 玄

柘植家(通称酒屋)の愛称を募集！

柘植家は坂折棚田広場の近く、県道恵那八百津線沿いにあります。木造瓦葺平屋建(約 90 m²)で長い間住んでいないため、屋根、土台が損傷しており改修が必要です。昨年は当保存会として大掃除(近くの会員の奉仕による)をしました。今後、改修工事を近くの大工さんに依頼して行うことにしています。大工工事にあたっては、会員皆様の手伝いをお願いしたいと考えています。

現在は、畳を新しくしており、使用可能となっています。近日中に水道工事を行い台所、トイレ、風呂も使えるようになります。棚田の交流の場所として、また会員皆様の会合の場としてご利用下さい。ついては、この建物の愛称を募集しています。中野方振興事務所(23-2111)小宮まで報告ください。締め切り日は2月末日とします。なお、利用規定は現在作成しているところです。



わが町中野方町の景観を見直しましょう。

私達の住んでいる中野方町で昔とかわらぬ風景はどれだけあるのでしょうか？

先ず住んでいる自分の周囲を眺めてみよう。子供の頃と変わっていませんか。私は住宅を建て直したよ。新しい道ができた。田んぼが整備され、農道もできた。昔から赤線といわれた道が様変わりをして広くなった。前の山の木が大きくなり風通しが悪くなった。影ができて日当たりが悪くなった、見通しが聞かなくなった。いやいや昔と変わらないところもあるよ。などなど話しては尽きないでしょう。



この頃山間の農村そのものを文化的景観として、末長く保存して行こうとする制度ができました。今の美しい中野方町を文化財として残して行くのも私達の役目だと思います。その役目を果たすためには、住んでいる周囲を次世代に伝えるという視点で見直して見

ることが必要だと考えます。将来今の子供達が成長したとき中野方町に住みたいと思うようにしたい。また他の地域から中野方は住みよい所だと思い、多くの人が来るようにしたいものです。

全国棚田サミットに参加して

平成 18 年の 10 月 6～7 日第 12 回全国棚田サミットが宮崎県日南市の坂元棚田で開催されました。当保存会から 9 人出席しました。



小学生も一緒になって大会を盛り上げていました

全国棚田サミットここ数年の開催地
第 9 回 平成 15 年 恵那市坂折棚田
第 10 回 平成 16 年 佐賀県蕨野棚田
第 11 回 平成 17 年 愛知県四谷千枚田

当恵那市においては、平成 15 年に全国棚田サミットが開催され全国の棚田関係者に広く知っていただきました。坂元棚田のサミットは「棚田・未来への継承」をテーマに開催されました。ここは昭和の初期に造られており、石積みの美

しい棚田でした。酒谷小学校の生徒が主になって、坂元棚田を案内してくれました。耕地面積約 5.7ha の山林に囲まれており、耕作には離れた集落 (1.5km) から来て行われていました。日南市に近いことから多くの方がイベントやオーナーとして参加していました。

なお第 13 回のサミットは栃木県茂木町で行われます。茂木町は報徳運動の盛んなところと聞いています。また地域循環型農業、有機栽培を行っています。当保存会としても参考となるところで、是非参加したいものです。



石積み棚田で整備された坂元棚田

**** 坂折棚田の案内 *****

ボランティア育成研修会を開きます。

坂折棚田が日本棚田百選になってから、当棚田を訪れる人が年々増加してきました。今後、訪ねて来ていただく方に、より満足していただくため、案内の知識を高める研修を行います。中野方町の会員皆様お誘い合っご出席下さい。長い歴史を持つ棚田を知り、多くの方々にお伝えできるようにしていき、当棚田保存活動を充実していきましょう。

日 時 2 月 17 日 (土) 午後 1 時 30 分

3 月 9 日 (金) 午後 7 時

場 所 中野方坂折、柘植家 (通称酒屋) 住宅

研修内容 ・坂折棚田の歴史・・・江戸時代現八百津町から来た柘植兄弟が坂折棚田を作ったその変遷を学習します。

・坂折で行われてきた農作業・・・江戸～昭和初期の百姓仕事について

講 師 河合哲玄、柘植一光 他を予定

『坂折棚田』オーナー制度募集

当保存会では農村の景観や棚田の保全を広く都市住民の方々にご理解いただきたいと、「オーナー制度」を実施しています。

棚田の保全に共感して頂き「美しい自然と共生したい」「里山暮らしを体験したい」そんな思いのある貴方をお待ちしています。

- 所在地：恵那市中野方町坂折
- 活動主体：恵那市坂折棚田保存会
- 活動期間：平成19年5月頃～10月頃
- オーナー会費：基本料金30,000円（年間）
- 募集組数：30組（応募多数の場合は、選考させていただきます）
- 面積：1区画 約100㎡（2～3組で田んぼ一枚を管理して頂く事もあります）
- 内容：基準年3回（田植え、草取り、稲刈り）
- 特典：収穫した坂折棚田米 30kg。旬の農産物ギフトなど



【申し込み・問い合わせ】

恵那市農業振興課 農村交流係 0573-26-2111（内545）

中野方振興事務所内 恵那市坂折棚田保存会 0573-23-2111

棚田の酒「くろくわ」の利用をお願いします（求む、棚田ブランド応援隊）



棚田の酒「くろくわ」を使ってください。

お土産、贈物にどうぞ。野瀬の小松屋さんにあります。

なお、会員の皆様には特別に会員証を提示いただければ価格1本当り100円引きにさせていただきます。但し小松屋さんに限ります。

販売所 中野方町 小松屋 Tel 0573-23-2201

—訂正— 通信1号で井戸史雄さんと鷺見達男さんの名前が違っていました。お詫びして訂正します。

あとがき

暖冬でこのまま春が来るのではないかとというほどぽかぽか陽気が続いています。棚田の冬も表紙のような雪景色を見せることなく草木の芽吹きを迎えるのでしょうか。棚田通信は皆様の知りたい情報、伝えたい情報を四季に応じて記事にしていきたいと考えています。今後どのような記事を書いていけばよいか、この通信に対して皆様のご意見をお待ちしています。

恵那市坂折棚田保存会 事務局（中野方振興事務所内） 23-2111